

インターバンクの声（2015年12月3日）

期待通りと言ってしまうと語弊があるが、昨晚の海外市場は米 ADP 雇用統計の強い内容と米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演発言でドル高が進んだ。また、連邦公開市場委員会（FOMC）メンバーで今年の投票権を持つアトランタ連銀のロックハート総裁も12月の利上げには「根拠がある」と述べ、16日の利上げ見通しがさらに高まったようだ。ドル円は123円60銭台まで、ユーロは1.05ドル台中盤までドルが買い進まれたが、その後はドルが反落している。市場は米 FRB と欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和に対して益々確信を深めているが、とにかく円のショートポジションとユーロのショートポジションが膨らみ過ぎているようで、じっくり待てない人たちが早めの利食いを入れて来るため、どうしてもどこかで反落してしまう典型的な相場だ。いよいよ ECB 理事会と米雇用統計の発表が目前だが、なかなか届かない124円台や1.04ドルに突入するのか注目したい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。